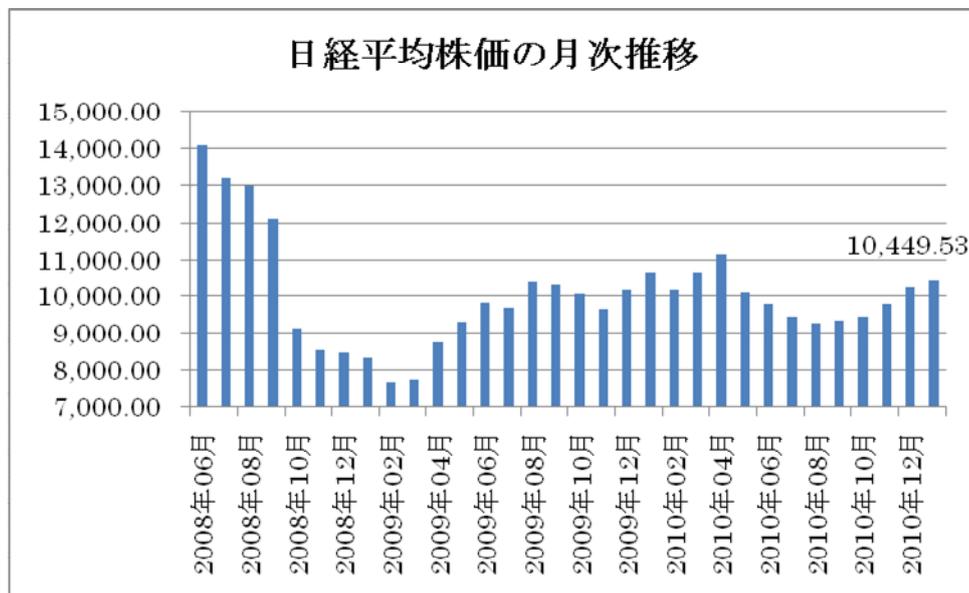
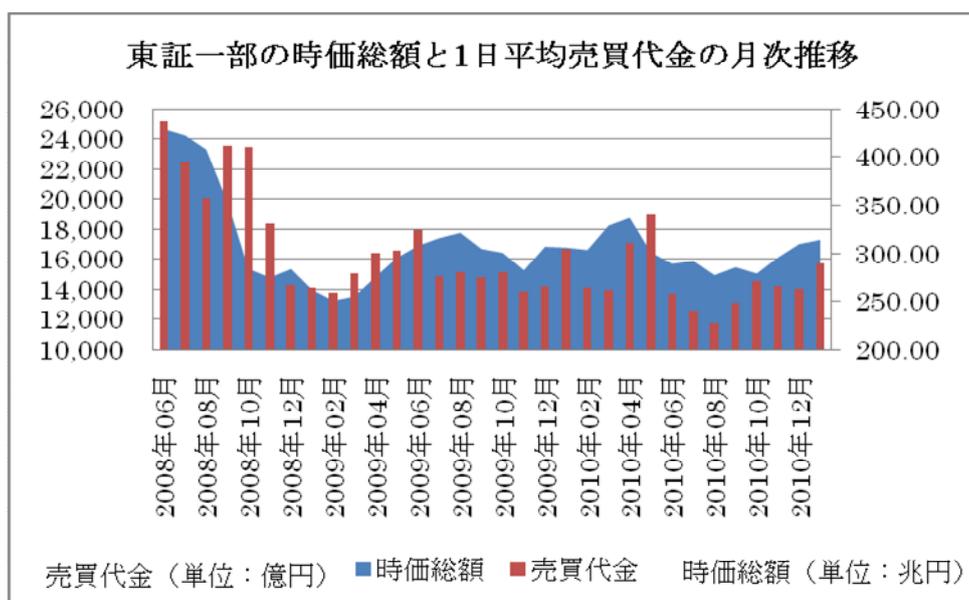


5. 株式に関する指標



日経平均は2009年2月を底に短い周期で上昇下降を繰り返しながらも上昇傾向にあります。



東証一部市場の時価総額は株価の上昇に伴い、増加していますが、昨今は、企業活動の自由性から MBO（企業経営者が自社の株式をほかの株主から買い取ること Management Buyout）により上場廃止の選択肢をとる企業が増加傾向にあります。また金融危機以降は上場を目指す企業も大幅に減少しています。逆に老舗企業による上場も散見され市場は目が離せない状況が続いています。

1日平均売買代金は1兆5,000億円前後です。金融危機以降は1日平均売買代金が2兆円を超えるケースはほぼなくなり日本の株式市場自体に勢いがなくなりつつあります。日本市場から上海や香港市場へとマネーの潮流が変化しています。